

# 晴海会

Harumi Kai PR brochure

2015  
SUMMER

**10/17 [土]**

「ANA インターコンチネンタル東京」にて祝賀会開催！  
あの友達と、先輩と、後輩と、先生と集まろう！



# 祝!晴海総合高校20周年!

## 集まろう卒業生、先生、同窓生と祝う2時間!

2015年10月17日、今年20周年を迎えた晴海を祝う祝賀会を行います。場所はANA インターコンチネンタルホテル東京。1期生から17期生まで、時は違えど同じ場所で学んだ同窓生と、歴代の先生方や今の晴海を知る先生方、現PTAの皆さんにもお集まりいただき思い出話を花を咲かせましょう。エントランスに響くローファーの音や、ジャージについた砂ぼこりの色、廊下の薄暗さや温水になれなかったプールの冷たさまで、時を越えて思い出せるタイムスリップのようなイベントに、なればいいなと考えています。

祝賀会の司会は卒業生のおふたりをお願いしました。フリーアナウンサーの小口ひとみさん(9期生)と、声優・俳優の木村昴さん(11期生)。小口さんは元仙台放送アナウンサーで、木村さんは2005年より「ジャイアン」の声優をつとめているキャリアの持ち主。祝賀会当日はプロになったおふたりの掛け合いにも大注目です。

お世話になった先生方と、今だから話せるあの日の話題に花を咲かせられるのもこの会ならではの。卒業生が企画する音楽やダンスもありと盛りだくさんです。

とにもかくにも、下記フォームからまずはプレントリーをお願いします。プレントリーの締め切りは8/9(日)。プレントリーいただいた方に招待状を送付して、会費をお支払いいただいて、本申し込み完了になるので、予定が確実でない場合でもプレントリーはお済ませください。

<http://goo.gl/forms/93Lp3VXPAA>

それではみなさん、10月17日赤坂でお会いしましょう!



### [ 晴海総合高校20周年記念行事 祝賀会 ]

[ 詳細 ]

**日時: 2015年10月17日(土) 18:00 ~ 20:00**

**場所: ANA インターコンチネンタルホテル東京 大宴会場プロミネンス**  
(<http://www.anaintercontinental-tokyo.jp/access/>)

**会費: 6,000円 (16期・17期生のみ 5,000円)**

※ ご用意しているお飲物の関係で会費を変えております。

招待予定: 晴海総合高校卒業生、現役教諭、歴代校長・教諭…他

[ プレントリーはこちらから ]

下記 URL からエントリーいただけます。右の QR コードも同じリンクへのものです。

<http://goo.gl/forms/93Lp3VXPAA>

ご予約が確実でない方や、その他お問合せもこのフォーマットからお願いいたします。備考欄に内容をご明記ください。ご登録のメールアドレスへご返信いたします。**8/9(日)まで**一端締め切らせていただきます。

ご登録いただいた皆様に**8月上旬**に別途、招待状をお送りいたします。ご連絡お待ちしております。

[ 晴海会 Facebook グループにもご参加を ]

<https://www.facebook.com/groups/harumikai/>



## 世代を越えて集まった晴海生、 合唱と吹奏楽とダンスのコラボレーション。

2014/10/4 at NYSE

2014年10月4日、晴海総合の卒業生による「第二回 晴海音楽祭」が代々木で開催されました。室内楽・合唱・吹奏楽の三部構成で行った前回の発展形として、今回はダンス部門が加わりました。出演者は総勢50名、1期生から16期生まで幅広い世代が参加した、歌と踊りと、吹奏楽の祭典を振り返ります。

会場探しに追われていた2013年の秋。第一回目の反省を踏まえ、アークセスがよく、ダンスも可能で、予算内に収まる会場を根気よく探し続け、私達は代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターの大ホールを選びました。本格的に始動したのは2014年春のこと。概要を決め、予算を組み、スケジュールを切り、出演者を募り、練習場所を探し、それから練習、練習、また練習…と、慌ただしく日々は過ぎ、気付けば季節は夏。本番が間近に迫っていました。今回の最大の見せ場は、ラストを飾る合同ステージです。現役生のときには成し得なかった、合唱と吹奏楽とダンスのコラボレーション。最初の合同練習は本番の一月前に行われました。生の演奏とダンスがうまく合うのか不安でいっぱいでしたが、何度か通すうちに「これはすごいものになるぞ」と密かに思ったことを覚えています。

しかしダンスや吹奏楽の文化の違いや、学生と社会人の世代間ギャップが、時としてトラブルを生むこともありましたが、それでも私たちが成功を信じて進めたのは、晴海にいた頃の情熱を皆が共有し、お互いを信頼し合えたからだと思っています。音楽家、ダンサー、教員、ステージマネージャー、デザイナー、会社員、そして学生たちの、それぞれのフィールドで培った

経験が活かされて、音楽祭はつくられていきました。そして本番当日。第一部の合唱では、「春に」をはじめ、現役生の頃にも聴いた懐かしいナンバーがたくさん流れました。合唱部門の出演者は7名と少人数ではありますが、練習の積み重ねに裏打ちされた、音楽への誠意と熱意を感じさせる演奏で、会場をやさしく包み込みました。第二部はダンスです。世界旅行をテーマに、出演者が入れ替わり立ち代わりステージへ躍り出て、さまざまな衣装や演出で観客を湧かせていました。エンディングを飾った「GoGo」

では、全てを出し切るようなダイナミックなダンスと弾ける笑顔で、会場は大きな拍手に包まれました。

第三部の吹奏楽は、「アナと雪の女王」や「スペイン」など、幅広いプログラムでステージを盛り上げました。最後に演奏した曲は、吹奏楽の名曲、A.リード「アルメニアン・ダンスパートI」。このような名曲に大人になってからチャレンジできたことにも、大きな喜びを感じました。

ラストは合同ステージです。ディズニー・メドレーの歌と音楽に、息の合ったダンス。すべての出演者が参加して、ステージは一気にヒートアップしました。この日一番の拍手に包まれたあとは、観客のみならず一緒に校歌を歌いました。そして最後の最後、爽やかで軽快な行進曲「海を越える握手」を手拍子に合わせて演奏。世代を越えて集まった私たちに、ぴったりなナンバーで、「第二回 晴海音楽祭」は幕を閉じました。

観客動員数は352人。前回の倍以上のお客様を迎え、大成功のうちに終えることができました。卒業して10年経っても、なお多くの人たちが協力してくれる、そんな土壌を育んでくれた母校を、私は誇りに思います。

さて、第三回目はどんなステージになるのでしょうか？まだ見ぬ未来に胸ふくらまし、ワクワクしている大人がここにいます。次回もぜひご期待ください。

晴海音楽祭実行委員長  
5期生 斉藤純子



### 出演者 / performers

#### ● wind music

pic: 田中幸子 (9) / fl: 左龍 知 (5) 高橋美咲 (5) 川中志織 (6) 松村陽香 (13) 杉浦夏美 (14) / ob: 笈川七海 (13) / cl: 飯塚祐衣 (10) 首代智美 (11) 関口綾華 (12) 小野瀬愛梨 (12) 小林真柚 (14) / b. cl: 増山佳菜 (エキストラ) / a.sax: 中里友香 (9) 佐々木ひかり (エキストラ) / t.sax: 浦浪麻佑子 (13) / b.sax: 藤井洋一 (5) / hr: 中島ゆかり (1) 一ノ瀬裕香 (エキストラ) 田中俊敬 (エキストラ) 桜井祐子 (エキストラ) / trp: 斉藤純子 (5) 根本孝史 (5) 稲毛田絵美 (14) 加藤美咲 (14) 加持美夢 (16) 坂本かをり (5) 桜井香代子 (1) 平尾晃子 (11) 水島さやか (12) / euph: 水村綾香 (11) / tuba: 牛山太郎 (エキストラ) / Bass: 堀内陽躍 (エキストラ) / perc: / 大谷未来 (エキストラ) 山田夏音 (エキストラ) 工藤夕奈 (エキストラ) 鈴木 紫 (エキストラ) 藪田百合花 (エキストラ) / スタッフ: 鈴木英美 (5) 木下ふみ (5) 木村忠 (6)

#### ● dance

沖山 奈央 (5) 吉川詠子 (5) 小澤那波 (5) 田村文 (5) 佐取真衣 (9) 藤城みなみ (9) 松川紫乃 (9) 村岡佳苗 (9) 奥村可那子 (9) 甲斐 絢 (9) 吉江絵理紗 (10) 近藤美紀 (10) 青木由李 (10) 戸井田理沙 (11) 平山奈津美 (11) 三浦あゆみ (11) 川又琴未 (11) 山田奈緒美 (13) 松本美穂 (13) 稲葉美里 (13)

#### ● chorus

バス: 木村幸史 (1) / テノール: 小貝太郎 (3) / ソプラノ: 佐藤未季 (5) / アルト: 岩崎ユキ (5) 小松恵美子 (6) 小園まさみ (7) / ピアノ: 野々山順子 (エキストラ)

※カッコ内の数字は期

## 今年の体育祭は青と緑のデッドヒート。 応援合戦も健在。ランニングデッキは観戦者で満席！

2014/05/08 at Harumi Sogo Highschool

昨年の優勝は緑団…二連覇なるか!? という期待のなか始まった体育祭。卒業生の私たちは「こんな競技あったなあ」と想い出と重ねて懐かしむのが恒例ですが、その一方で、体育祭をじつと見つめる保護者の方はどのような心境なのでしょう。その目に映る「晴海」とは？ 20周年記念特別企画として、保護者の方にインタビューしました。

折戸様（2年生） 松田様（3年生）  
葦澤様（3年生） ※以下敬称略

——晴海の体育祭をご覧になるのは何回目ですか。

折戸…子どもが2年生なんです、今年初めて来ました。

松田…私と葦澤さんは3回目です。毎年来てます。

——初めてご覧になった晴海の体育祭は、どのような印象ですか。

葦澤…初めて見たときは、感動。涙が出そうになりましたよ。学生主体で自律的に運営して、先生がほとんど出てこない。生徒は大変かもしれないけど、親からしたら本当にすごいことだなととにかく感動してしまっ

松田…次はどうなるんだろう！とワクワクしますよね。競技や応援団に迫力もあるので、子どもが所属している団や、部活の友人も応援して、今

や純粋に楽しんでいます。さつきも3年生全休リレーで赤団が1位だったのでもう満足です(笑)

折戸…親子ともに、賑やかで元気だなと思いました。うちはもう一人子どもが私立高校に通っていますが、体育祭は休日に行われるので保護者の方もたくさんいらつしやる。でも晴海は、平日開催にも関わらず保護者の方もデッキが埋まるくらいには見に来ていますよね。都立校で、こんなに賑やかで元気な体育祭ってなかなかないと思います。

——学生主体の運営、応援したくなる、賑やかな体育祭…この体育祭の雰囲気から垣間見る「晴海らしさ」とはどのような言葉で表されると思いますか。

折戸…自由と自己責任。葦澤さんがおっしゃっていたように、学生主体の運営、開放的な校舎・校風であるということは、選べる自由と選んだ責任をもつ必要があると、身をもって学べるのではないのでしょうか。

松田…個性を認め合う雰囲気。普通科の高校に進んでいけば交流することもなかったかもしれない、各分野に長けている人と、友人になり交流することができているなあと、普段の話を聞いていて思います。

葦澤…自律心と積極性。高校を選ん

だときから、(地元ではない)知らない土地に飛び込み、いろんな人と出会っていくのは大賛成でした。3年間同じ友人とずっと一緒にいるわけではなく、系列、授業ごとに友人がたくさんいるので素晴らしいと思いますね。

——保護者の皆様からのコメントに、私たちとはまた違った視点からの「晴海らしさ」を発見しました。本日はありがとうございます。



### 晴海会から

### お知らせ

#### ● 定例会は月島でおこなっています

皆さんは卒業後月島にきていますか？新鮮組がローソンになったり、サイゼリヤができたりと、少しずつですが町並みもかわっています。改札をでるとどこかつかしい月島で、月一度の定例会をおこなっています。

#### ● 卒業してから引越された方へ

転居された卒業生のために、晴海会では住所登録フォームをご用意しています。卒業してから一人暮らしを始めた方、ご結婚された方もいるかと思えます。是非新しいご住所をご連絡ください。卒業生のそれから、今の晴海について、同窓会のお知らせなどをお届けします。

<https://goo.gl/g0ZB9>

#### ● 今期晴海会の主な活動報告・計画

- 【平成26年度】
  - 「4月」第19回 晴海総合高校入学式参列
  - 「9月」晴海祭 ブース出展…来校する中学生、在校生との交流、卒業生の活動コマを行いました。
  - 「3月」第17回 晴海総合高校卒業式参列…卒業生用胸花を贈呈しました。
  - 【平成27年度】
  - 「4月」第20回 晴海総合高校入学式参列
  - (以下活動計画)
  - 「9月」晴海祭 ブース出展/第3回 定例総会
  - 「10月」都立晴海総合高等学校20周年祝賀会
  - 「3月」第18回 晴海総合高校卒業式参列
- 上記に加え月一度のミーティングを実施、どなたでもご参加いただけます。20周年祝賀会に関しては平成26年度から随時高校・PTAと準備を進めております。また、今回の総会では役員改選を行います。総会へのご参加・委任状ご提出にご協力をお願いします。